

微古生物レファレンスセンター研究集会(MRC2015)高知大会
【公開ワークショップ】 IODP 拠点施設の活用:最新微小領域分析とレガシーコア

日時：2015年3月1日(日) 9:40~12:10

会場：海洋コア総合研究センター セミナー室

主催：MRC2015 実行委員会

共催：高知大学、国立科学博物館、東北大学総合学術博物館

協力：海洋研究開発機構高知コア研究所

後援：日本地球掘削科学コンソーシアム

コンビナー：阿波根直一、伊藤元雄 (JAMSTEC)、池原実、萩野恭子 (高知大学)

趣旨：近年大きく進展してきている微小領域化学・同位体分析技術は、地球科学研究での活用が活発化し、微古生物学分野においても微化石単個体からの古海洋情報の抽出や、有孔虫や円石藻の石灰化過程の解明などバイオミネラリゼーション分野の進展に大きく貢献する可能性を秘めています。本ワークショップでは、高知コアセンターに新たに導入された二次イオン質量分析計などの微小領域分析装置群の微化石研究への応用展開について議論しました。また、高知コアセンターで保管されている IODP レガシーコア (西太平洋・インド洋) のさらなる活用策についても検討しました。

プログラム：(座長：池原実)

9:40~10:00 二次イオン質量分析計を用いた炭酸塩の局所酸素同位体比分析 牛久保孝行 (JAMSTEC)

10:00~10:20 TEM-FIB法の微化石研究への応用可能性 富岡尚敬 (JAMSTEC)

10:20~10:40 TEMとSEM-EDSを用いた円石藻の石灰化様式の解明 萩野恭子 (高知大学)

10:40~11:00 造礁性サンゴ骨格の微細組織観察から解き明かす骨格形成過程 甕聡子 (東京大学)

11:00~11:40 総合討論

(コメント) グプタララン、久光敏夫 (JAMSTEC)：高知コアセンターの保管試料とその活用

村山雅史 (高知大学)：新規導入 XRF コアロガー

11:40~12:10 新コア保管庫・レガシーコア見学会

